

報道各位

新潟市美術館

新潟市美術館 令和8年度企画展  
「竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー」  
開催のご案内

新潟市美術館では、企画展「竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー」を開催いたします。  
「夢二式美人」で一世を風靡し、時代の寵児となった竹久夢二(たけひさゆめじ、1884-1934)は、絵画の世界にとどまらない多彩な個性と才能で、今もなお高い人気を誇っています。本展は、京都・嵐山の福田美術館が所蔵する、実業家・河村幸次郎(かわむらこうじろう、1901-1994)旧蔵の竹久夢二の作品・資料200点に新潟ゆかりの資料も加えて展示します。  
つきましては、ぜひ貴媒体にて広く周知にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆ 展覧会

竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー

会 期：2026年6月13日(土)～8月30日(日)

\*前期 6月13日(土)～7月20日(月・祝)

後期 7月22日(水)～8/30(日) 前・後期で一部展示替えあり

休 館 日：月曜日(ただし7月20日(月・祝)は開館、7月21日(火)は休館)

開館時間：午前9時30分～午後5時(観覧券の販売は閉館30分前まで)

観 覧 料：一般1,500円(団体1,200円)、

高校生・大学生1,200円(団体900円)、中学生以下無料

\* ( )内は、前売券(一般のみ) <販売期間 4月11日(土)～6月12日(金)>・

団体料金(20名以上)・リピーター割引料金・あっちも割引料金

主 催：新潟市美術館、新潟テレビ21

企画協力：福田美術館、ブリッジアート

企画制作：MBS テレビ

お問合せ先

新潟市美術館 塚野・菊地

TEL:025-223-1622(直通) MAIL: museum@city.niigata.lg.jp



TANKEHIISA Yummeji 画家は詩人でデザイナー

# 竹久夢二のすべて



2026

6/13 [土]



8/30 [日]

前期 6/13[土]ー7/20[月・祝]

後期 7/22[水]ー8/30[日]

\*前・後期で一部展示替えあり。

休館日 | 月曜日

\* (ただし7月20日[月・祝]は開館、  
7月21日[火]は休館)

開館時間 | 9:30ー17:00

\* 観覧券の販売は16:30まで

観覧料 | 一般1,500円(前売・団体1,200円)、高校生・大学生1,200円(団体900円)、中学生以下無料 ○( )内は20名以上の団体料金・リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体料金を割引)・あっちも割引料金(新潟市新津美術館観覧券提示で団体料金を割引、1回1名・1年間有効) ○障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示下さい) ○会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます ○前売券の販売は一般のみ。販売期間: 4月11日[土]ー6月12日[金] [前売券 販売場所]セブン-イレブン(セブンコード: 113-949)、ローソン(Lコード: 33103)、アソビュー!、インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)、新潟県立万代島美術館 ミュージアムショップ、新潟市新津美術館、新潟市美術館

主催 | 新潟市美術館、新潟テレビ21 企画協力 | 福田美術館、ブリジアート 企画制作 | MBSテレビ

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9 TEL 025-223-1622 FAX 025-228-3051 Email museum@city.niigata.lg.jp

右(長崎十二景 眼鏡橋(部分) 1920年 / 左(長崎十二景 青い酒(部分) 1920年 左右とも背景<千代紙 藤の花>(いせ辰版、部分) 制作年不詳 すべて福田美術館蔵(旧河村コレクション)



新潟市美術館  
Niigata City Art Museum



1.《女十題 黒猫》1921年／2.《青春譜》1930年／3.《旅》1931年／4.《糸まき》制作年不詳  
5.《スキーぶし(中山晋平・新民謡Ⅷ「スキーぶし・チラリサラリと」原画)》1929年頃／6.《初春》1926年

背景『春のおくりもの』(部分) 1928年 ○すべて福田美術館蔵(旧河村コレクション)

メランコリックな表情を湛えた、しなやかで優美な女性像。可憐な少女や、愛くるしい子どもたち。描いたのは、大正ロマンを代表する画家、竹久夢二(1884-1934)です。「夢二式美人」で一世を風靡し、時代の寵児となった夢二は、絵画の世界にとどまらない多彩な個性と才能で、今もなお高い人気を誇っています。

本展は、京都・嵐山の福田美術館が所蔵する、実業家・河村幸次郎(かわむらこうじろう、1901-1994)旧蔵のコレクションをまとめて公開する貴重な機会です。画家であり、詩人、デザイナーでもあった夢二の「クリエイター」としての魅力に焦点を当て、本コレクションの特徴ともいえる、大正期の代表的連作《長崎十二景》や《女十題》の原画を一堂に展示。あわせて《青春譜》や《旅》などの名作を通して、夢二が歩んだ画業の軌跡を辿ります。また、音楽とのコラボレーションが楽しい「セノオ楽譜」や「中山晋平楽譜」の表紙原画、文才を発揮した小説や俳句、そして当時の女性たちに人気を博した千代紙や便箋などの可愛いデザインワークまで、約200点におよぶ作品を展覧。あらゆるジャンルで才能を開花させた、夢二の全貌に迫ります。

加えて新潟会場独自の展示として、夢二と交流のあった出湯温泉の「石水亭」主人・二瓶武爾(にへいたけじ、1899-1952)氏とそのご子息の文和(ふみかず)氏が蒐集した「二瓶コレクション」を特別公開いたします。あわせて、十日町市の伝統的な絹織物を身にまとった女性を描いた《十日町明石ちぢみ》に関する資料も出品。美人画家の枠におさまりきれない、竹久夢二の魅力をぜひ会場でご覧ください。

## 関連事業

### 開幕記念講演会

「竹久夢二のすべて～世紀末を生きたマルチアーティスト～」

講師:福田美術館 副館長 竹本理子氏

日時:6月13日[土] 14:00～15:30(13:30開場)

会場:2階 講堂

申し込み不要、聴講無料、定員80名(先着順)

### 担当学芸員によるギャラリートーク

日時:6月28日[日]、7月26日[日] 14:00～(30分程度)

申し込み不要、要当日観覧券

## 同時開催

### コレクション展1 重力人体／絵の中のパターン

4月24日[金]—8月2日[日]

### コレクション展2 わたしとかぞく

8月8日[土]—12月13日[日]

新潟市新津美術館の展覧会 TEL.0250-25-1300

## おでかけ!絵本ミュージアム

5月23日[土]—8月30日[日]

## 小さなお子さんがいる、障がいがあるなど、何らかの理由で来館を迷っている方へ

車椅子やベビーカーの無料貸し出し、授乳室のご案内をしています。そのほかにも、来館の際に心配ごとがあればお問い合わせください。可能な範囲でご対応します。

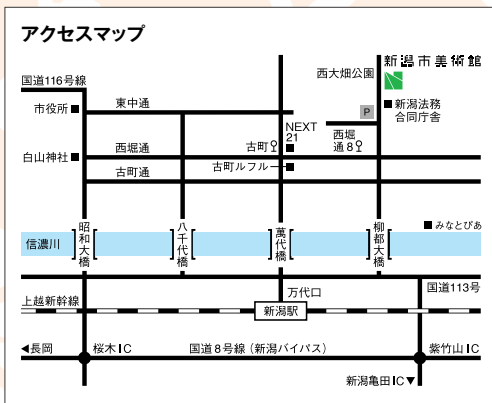
**新潟市美術館**  
Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL 025-223-1622 FAX 025-228-3051

Email museum@city.niigata.lg.jp

Facebook @ncam.tsunagaru Instagram @ncam\_official



## 交通のご案内

### ○バスで(新潟駅バスターミナルから)

【C6八千代橋線】乗車約16分→「西郷通八番町」バス停下車→徒歩5分(便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停からのアクセスとなります)

【B1万代橋ラインなど】乗車約10分→「古町」バス停下車→徒歩12分(最も便数が多いバス停からのアクセスとなります)

### ○タクシーで 新潟駅万代口から約10分

### ○自動車で(無料駐車場46台)

A:【高速道路】日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分

B:【国道8号線(新潟バイパス)】紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

\*当館駐車場は混雑する場合があります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

竹久夢二のすべて  
TAKEHISA Yumeji 画家は詩人でデザイナー



1.《長崎十二景 眼鏡橋》(部分) 1920年、福田美術館蔵(旧河村コレクション)

2026年6月13日(土) — 8月30日(日)

前期 6月13日(土) — 7月20日(月・祝)、後期 7月22日(水) — 8月30日(日)

\*前・後期で展示替えあり。

## 京都・福田美術館所蔵の約200点を展示

「夢二式美人」で一世を風靡し、時代の寵児となった竹久夢二(たけひさゆめじ、1884-1934)は、絵画の世界にとどまらない多彩な個性と才能で、今もお高い人気を誇っています。本展は、京都・嵐山の福田美術館が所蔵する、実業家・河村幸次郎(かわむらこうじろう、1901-1994)旧蔵の竹久夢二の作品・資料、約200点をご紹介します。

加えて、夢二と交流のあった出湯温泉の「石水亭」主人・二瓶武爾(にへいたけじ、1899-1952)氏とそのご子息の文和(ふみかず)氏が蒐集した「二瓶コレクション」や、十日町織物工業協同組合が所蔵する《十日町明石ちぢみ》を描いた美人画に関する資料などもご紹介し、夢二の新潟での足跡を辿ります。

美人画家の粋におさまりきれない、竹久夢二の魅力をぜひ会場でご覧ください。

## 章構成

### 第一章 夢二式美人の魅力

夢二が描く女性像に憧れ、似たような装いをする女性も出現したと言われる「夢二式美人」は、年齢や職業はさまざまながら、いずれも色白、小顔、八頭身。愁いを帯びた大きな瞳が印象的です。夢二のやわらかな筆さばきは、彼女たちのありのままの魅力を描き出しました。



2. 竹久夢二《初夏》1928年頃  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）  
前期出品



3. 竹久夢二《庭石》1931年頃  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）  
後期出品

### 第二章 憧れと現実 ～絵でたどる夢二の人生

岡山に生まれた夢二は、東京を拠点にほぼ独学で多彩な才能を開花させます。順風満帆ではありませんでしたが、大正時代を代表するアーティストとして多くの愛好者を獲得しました。旅をこよなく愛した夢二ならではの風景画や、憧れの地である長崎ゆかりの作品とともに、その生涯をたどります。



5. 竹久夢二《長崎十二景 青い酒》1920年  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）



6. 竹久夢二《女十題 黒猫》1921年  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）

### 第三章 小説も書ける挿絵画家

文才にも恵まれていた夢二。詩や俳句だけでなく、雑誌の短編小説や新聞の連載小説なども執筆し、多くの自作の挿絵を添えました。本章では、挿絵の原画を物語の一節とともに紹介。文章から夢二は何を読み解いたのか、挿絵を通じて夢二の感性に触れることができるでしょう。



7. 竹久夢二《バルコニー》制作年不詳  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）



8. 竹久夢二《姉妹》1926年頃  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）

### 第四章 夢二と音楽

夢二は音楽への造詣が深く、楽譜の表紙を数多くデザインしました。当時の空気を反映した明るくモダンなデザインからは、歌詞や曲への深い理解がうかがえます。本章では『セノオ楽譜』と『中山晋平作曲全集』の貴重な表紙原画を、実際の楽譜とともに紹介します。



9. 竹久夢二《セノオ楽譜 No.44「蘭燈」》  
1921年（再版）、福田美術館蔵（旧河村コレクション）



10. 竹久夢二《スキーぶし（中山晋平・新民謡Ⅶ  
「スキーぶし・チラリサラリと」原画）》  
1929年頃、福田美術館蔵（旧河村コレクション）

## 第五章 デザイナー夢二 ～「カワイイ」の元祖

1914（大正3）年、夢二は自らデザインした日用雑貨を販売する「港屋絵草紙店」を設立。店は商品を買求める女性客で連日大賑わいとなります。本章では少女雑誌の表紙原画、千代紙、封筒や便箋、装幀本など夢二のデザインワークに注目し、「カワイイ」夢二の世界を余すところなく紹介します。



11. 竹久夢二《初春》1926年頃  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）



12. 竹久夢二《糸まき》制作年不詳  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）

## 第六章 夢二のまなざし

独学で絵の道に進んだ夢二にとって、作画の基本となったスケッチ。常にスケッチブックを携え、メモ代わりに筆を走らせていたといいます。本章では、夢二が歩いた街や出遭った人々を描いた作品を紹介します。紙の上をのびやかに走る彼の筆跡をたどりながら、夢二の創作活動の秘密に迫ります。



13. 竹久夢二《東京震災 馬車》1923年頃  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）



14. 竹久夢二《浅草十二階》制作年不詳  
福田美術館蔵（旧河村コレクション）

## 特別展示 夢二と新潟

1930年10月に新潟県を訪れた夢二は、阿賀野市・出湯温泉の「石水亭」主人・二瓶武爾氏との交流から新しい竹カゴ「どんたく籠」を考案しました。同時期には十日町織物組合（現：十日町織物工業協同組合）の依頼で「十日町明石ちぢみ」の宣伝用に美人画も制作しています。これら新潟ゆかりの作品・資料を特別出品し、当県での夢二の足跡を紐解きます。

出品協力：阿賀野市立吉田東伍記念博物館、十日町織物工業協同組合

## 関連イベント

- 1 開幕記念講演会「竹久夢二のすべて～世紀末を生きたマルチアーティスト～」  
日時：6月13日（土）14時～15時30分  
講師：竹本理子氏（たけもと・あやこ）（福田美術館 副館長）  
会場：2階 講堂／申し込み不要、聴講無料、定員80名（先着順）
- 2 担当学芸員によるギャラリートーク  
日時：6月28日（日）、7月26日（日） 各日14時～14時30分 申し込み不要、要当日観覧券

## 開催概要

展覧会名 竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー

会場 新潟市美術館 企画展示室

会期 2026年6月13日（土）～8月30日（日）68日間

前期 6月13日（土）～7月20日（月・祝）、後期 7月22日（水）～8月30日（日）前期・後期で一部展示替えあり。

\*8月4日（火）から8月7日（金）はコレクション展の展示替えのため、企画展のみ開催

**開場式 2026年6月12日（金） 14時～15時30分**

開館時間 午前9時30分～午後5時（観覧券の販売は閉館30分前まで）

休館日 月曜日（ただし7月20日（月・祝）は開館、7月21日（火）は休館）

観覧料 前売券：1,200円（一般のみ、販売期間：2026年4月11日（土）～6月12日（金））

〔前売券 取り扱い場所〕

セブン-イレブン（セブンコード：113-949） <https://7ticket.jp/s/113949>

ローソン（Lコード：33103） <https://1-tike.com/event/mevent/?mid=635967>

アソビュー！ <https://www.asoview.com/channel/tickets/BgmFIbzoUI/>

インフォメーションセンターえん（メディアシップ1F）、新潟県立万代島美術館 ミュージアムショップ

新潟市新津美術館、新潟市美術館

当日券：一般1,500円（団体1,200円）、高校生・大学生1,200円（団体900円）、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金・リピーター割引料金（本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引）・あっちも割引料金（新潟市新津美術館観覧券提示で団体料金に割引、1回1名・1年間有効）

障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料（受付でご提示下さい）

\*会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます。

主催 新潟市美術館、新潟テレビ21 [https://www.uxtv.jp/?p=2775038&post\\_type=event&preview=1&\\_ppp=ecc6a251e8](https://www.uxtv.jp/?p=2775038&post_type=event&preview=1&_ppp=ecc6a251e8)

企画協力 福田美術館、ブリッジアート

企画制作 MBS テレビ [https://www.mbs.jp/yumeji-140/260401-xxxx\\_wFwOgG4OtlX0\\_index.shtml](https://www.mbs.jp/yumeji-140/260401-xxxx_wFwOgG4OtlX0_index.shtml)

## お問合せ先

新潟市美術館〔担当：塚野卓郎、菊地咲希〕

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL：025-223-1622 FAX：025-228-3051 E-mail：museum@city.niigata.lg.jp

## 竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー

### 【取材・チケットプレゼント・記事掲載について】

次の1～3のいずれかをご希望の場合、以下の URL または二次元コードから WEB フォームでお申込ください。

- 1) 会場・担当学芸員への取材
- 2) 展覧会に関する記事の掲載（画像はチラシ画像、竹久夢二《長崎十二景 眼鏡橋》（部分）1920年、福田美術館蔵（旧河村コレクション）の2点をご提供します）
- 3) 読者プレゼント用の招待券

【申し込みフォーム】

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeYXtt7ht9uaSZg2G4C\\_TKgwuJ\\_Ga8j2DnQnywISfne6X-6w/viewform?usp=dialog](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeYXtt7ht9uaSZg2G4C_TKgwuJ_Ga8j2DnQnywISfne6X-6w/viewform?usp=dialog)



\*お申し込みにあたっては、次の条件をご了承ください。

- ・記事内容は、必ず当館にて事前確認させてください。
- ・読者プレゼント用の招待券は本展をご紹介いただける場合のみ、1媒体につき10組20名様を上限として提供します。
- ・読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選・発送まで貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ・掲載媒体は、必ず当館まで1部ご送付ください。
- ・WEB掲載の場合は、画像にコピーガードの処理をかけてください。